

# とんとん峠

38号  
(2013.12)

二〇一三年は十月の「水俣条約会議」、「第三十三回全国豊かな海づくり大会」、十一月には「日本商工会議所青年部第三十一回全国会長研修会」と水俣市内では大きな催しが続き、水俣地域が国内外から注目される年となりました。

本号では、水銀に関する研究者が集まり二年に亘って開催されている「第十一回国際水銀会議」について特集としてお伝えします。

国水研は、水俣病に関しての総合的な調査、研究、そして国内外の情報の収集、整理及び提供を行うことこれらに関連する研究の実施を目的として環境省の機関として熊本県水俣市に設置されています。

また、わが国の公害の原点といえる水俣病とその原因となったメチル水銀に関する総合的な調査・研究、情報の収集・整理・研究成果や情報の提供を行うことにより、国内外の公害の再発を防止し、被害地域の福祉に貢献することを目指しています。



ICMGP: International Conference on Mercury as a Global Pollutant (国際水銀会議)

## 目次

● 特集

「国際水銀会議二〇一三」  
「NIMD-SETAC  
共同シンポジウム」

● 国水研の動き

● 国水研からのお知らせ

● 編集後記

● アクセスマップ

●特集

『国際水銀会議』

二〇一三

水銀問題に関する幅広い分野の研究者が一同に会し、水銀に関する最新の研究成果を発表する大規模の国際学術会議『地球環境汚染物質としての水銀に関する国際会議（ICMGP）』の第十一回会議が七月二十八日～八月二日の日程で、スコットランド・エジンバラにて開催されました。



ICMGP会場

初日には、一般市民が無料で展示会に参加できるオープンデーが行われ

ました。国水研はブースを出展し、セミナーの研究活動や水俣病に関するポスター掲示及び毛髪水銀量の測定を行いました。ブースには大人から子どもまで約七十名の方が訪れました。特に体内のメチル水銀濃度を反映する毛髪水銀量の測定は人気であり、多くの人で賑わっていました。



賑わうブース

七月二十九～八月二日の四日間は、会場にてオープンデーと同様にブースの出展を行いました。各日、約七十名～八十名の毛髪採取・分析を行い、翌日、結果の返却と各日の測定結果の発表を行いました。測定イベントの情

報は口コミで広まり、多くの参加者が集まるとともに、前回のハリファックスでの測定結果と比較をしたいと大会連続で測定に訪れた人も複数いました。

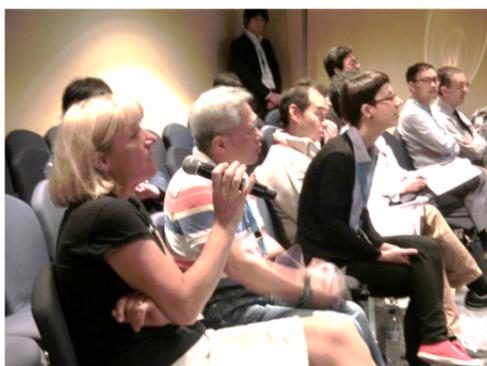
また、各研究テーマごとのセッションには、国水研から六名の研究者が参加し、口頭やポスターで研究成果の発表を行いました。

最終日の八月二日には、国水研主催のスペシャルセッション「海洋哺乳類の水銀と健康リスク」を開催しました。



演者

海外の研究者四名（アメリカ、カナダ）、国内の研究者二名及び国水研の研究者二名の八名が質疑応答を含む十五分の発表を行いました。会場には最終日のセッションに拘わらず、約五十名の方が集まり、多くの質疑応答が飛び交う活発なセッションとなり、非常に良いセッションであったと参加



フロアからの質問

者から好評を得ました。

水銀会議の開会式と閉会式では、最も貢献度の高かったスポンサーの一つとして学会長から謝辞が述べられました。また、スペシャルセッション

は熊本日日新聞の記事でも紹介され



スポンサーへの謝辞

ました。(新江・坂本)

## 『NIMD-SETAC 共同シンポジウム』

国連環境計画(UNEP)主催の「地球規模の水銀汚染防止のための条約」水銀に関する水俣条約」の採択・署名のための外交会議が、平成二十五年十月七日より、熊本市・水俣市で開催されました。水俣条約会議に先立ち、十月六日に、本研究センターは、

環境化学・環境毒性に関する国際学会(SETAC)と熊本県立大学との共催で、「21世紀における水銀汚染管理：科学と政策の架け橋」というシンポジウムを、外交会議参加者および市民・学生向けに開催しました。

シンポジウムでは、世界各国の産官学(アメリカ、カナダ、韓国、中国、オーストラリア、南アフリカ、日本、UNEP、UNIDO)からの十名のシンピジストが選ばれ、

- ・ 地球規模における水銀の循環
- ・ 水銀の野生生物に対する影響
- ・ 中国、南アフリカや極地における水銀汚染と環境内動態
- ・ 水銀の精錬やリサイクル
- ・ 健康影響に関する疫学研究
- ・ 水銀の輸出入に関する規制や今後の政策的な方向性

に関する発表と活発な討論が行われました。

また、会場では、参加者の毛髪水銀値の測定やポスターセッションによ

る研究紹介も行われ、参加者同士が活発に意見交換をする様子が見られました。

今後も、NIMDフォーラムを通じて、多くの方々に、水銀を取り巻く世界的な流れや研究成果を発信していきたいと考えています。(山元・坂本)



会場の様子

### 国水研の動き

平成二十五年九月～平成二十五年十二月

九月二十七日

白石順一地球環境審議官水俣視察

十月六日

NIMD・SETAC共同シンポジウム(熊本)

十月七日～十月八日

「水銀に関する水俣条約」外交会議

(十月九日 水俣視察day)

十月二十二日

塚原太郎環境省環境保健部長水俣視察

十一月三日

健康まつり(毛髪水銀測定)

十一月二十一日

中井徳太郎環境省大臣官房秘書課長水俣視察

十一月二十五日

Geek研修

(アフガニスタン・バングラディッシュ・カンボジア・中国・フィリピン・インド・インドネシア・日本・韓国・ラトビア・マレーシア・ネパール・シエラレオネ・スリランカ・ベトナム)

十一月二十六日

JICA研修

(アルバニア・ベリーズ・フィジー・ホンジュラス・インドネシア・マレーシア・マーシャル・メキシコ・モンゴル・モザンビーク・サモア・ソロモン・マケドニア旧ユーゴスラビア共和国・東ティモール)

# お知らせ

## ◎出張！「毛髪水銀測定」

ー健康まつり

十一月三日（日）、水俣市総合もやい直しセンター（もやい館）で「水俣市健康まつり」が開催されました。今年度も、毛髪水銀測定コーナーを設置して、希望者の毛髪に含まれる水銀量を測定しました。今年は連休に加えて、天気も朝から雨だったので「お越しにならない方は、少ないのでは？」と心配しました。が、百五十名！の方が毛髪水銀測定を希望されていました。



測定を希望された方からは「私の髪の毛には、水銀は入っていないと思うけど・・・。」「大人の私よりも、子供の方が高い。」等の声が聞こえて来ましたが、スタッフの解説を聞いて、納得されていたようでした。ご来場下さった皆さま、どうもありがとうございました！



## ★第六回 リハビリテーション技術講習会を開催します！

テーマ

「サルコペニアの病態生理  
（リハビリテーションに必要な知識と技術）」

●日時 平成二六年二月一日（土）

十三時三十分～十六時

●講師 吉村芳弘先生（熊本リハビリ

テーション病院 医師）

●内容 筋肉量が減少し、筋力が低下

して、活動低下の大きな原因

となるサルコペニアに関する

知識と、予防に関する具体的

な対策・技術について話して

頂きます。

●対象 医療、福祉に携わる専門職

●参加費 無料

●会場 水俣病情報センター

●申し込み方法

FAXまたはEメールにて氏名・年

代・職業・勤務先を明記の上、左記ま

でお申し込みください。

●問い合わせ・申し込み先

国立水俣病総合研究センター

FAX 六二一—一四五

Eメール reha@nimd.go.jp

（担当 遠山）

皆さんのご参加お待ちしております。



## 編集後記 本日のとんとん峠

二〇一三年は、水俣条約会議をはじめ、大きな催しが数多く行われ、新聞やテレビ番組などを通じて世界の水銀汚染の状況についても関連する報道が行われ、改めてその重大さを認識する一年になったのではないだろうか。

国水研では、積極的な情報発信を行ってまいります。最新情報や水銀に関する解説などはホームページをご覧ください。またこれまで発行された広報誌「とんとん峠」もバックナンバーが掲載されています。

Eメール [mail@nimd.go.jp](mailto:mail@nimd.go.jp)

アクセスマップ

